



# 日本共産党

Japanese Communist Party

はぎわら陽子 木崎としゆき



## 議会報告 2019年 春季号

### 佐倉市議会議員団

## どこからみても増税はムリ

### 10%消費税

消費の落ち込みは8%増税の打撃から回復せず、景気が良いのはほんの一部で、市民の可処分所得(使えるお金)が低下し、佐倉商工会議所でも売上減少を記録しています。

**増税の条件はありません**

実質賃金15万円減少/年

家計消費25万円減少/年



雇用が増えたという中身は年金だけでは暮らせない65歳以上とアルバイト。厚労省では毎月勤労統計の不正が発覚しました。

蕨市長は安倍首相の言葉そのまま「景気はゆるやかに回復している」と言いますが、市民の実態は国保税の滞納増加、就学援助の申請増加、給食費の滞納率も上がるなど、子どもや高齢者の貧困は大きな問題です。こんな状況で増税すれば、さらに景気が悪化することは目に見えています。

増税根拠とする幼児教育無償化は、もともと国が責任をもつ施策であるべきで、消費税増税と引き換える条件ではありません。

## 国民健康保険税 命を守る軽減策を早急に

### なぜ高い? 国保税

**理由その1** 社会保険・協会けんぽなどは会社や雇い主が保険料の半分以上を負担しています。1980年代までは国が国保税の50%を負担していましたが、25%に負担を減らしました。

**理由その2** 保険(税)料は収入に応じて決まりますが、国保税にだけ均等割(赤ちゃんにも1人2万6千円)平等割(1世帯に2万8千円)が加算され、保険税が高くなります。

### 滞納率は増加

市民の約3割が加入する国保加入者の内、その7割が年収200万円以下で、年金生活者が多数を占めます。滞納者は7208世帯(平成29年度決算)で、加入者の27%にのぼります。

### 保険税は安く出来る!



**軽減策その1** 全国知事会・全国市長会は国民健康保険財政の厳しさを国に訴え、国保(税)料を軽減するために1兆円の公費を国保に投入することを申し入れています。実現すれば人頭税にあたる時代錯誤の均等割・平等割りをなくすことができます。

★はぎわら陽子は、当面18歳以下の均等割を国の実施を待たずに市が免除するよう求めました。必要な財源は3,300万円で実現可能なのに市は国任せです。

**軽減策その2** 低所得者対策として、7割・5割・2割の法定軽減がありますが、住民税の申告をしていない場合は、この軽減制度を受けられません。

★はぎわら陽子は、滞納者の3割を占める所得なし世帯と未申告者の権利を守るために、住民税申告の必要性を促す対策を求めました。市は周知の工夫を約束しました。



**軽減制度は介護保険料や保育料などの減免にもつながります。所得がなくても申告を!**

# なぜ図書館が地下に?!

## 佐倉図書館の建て替え

市は佐倉図書館を地下にする理由を、子どもと大人のスペースを同じフロアにするためと説明します。美術館前の市駐車場は秋祭りにも金比羅市にも必要なため、図書館を建てるスペースは狭くなり、ワンフロアにするには地下しかないという理屈です。

それなら別の場所に建てれば良いのです。地下に子どもの図書スペースを設けている自治体は他にありません。

### 市民への説明も合意もなく

良い図書館が欲しいと期待を持つ市民が5回のワークショップで意見を出しましたが、地下図書館を望む声は一切ありませんでした。

ワークショップ4回目に突然地下図書館を提案した市の意図は、熱心に議論している市民が諦めるタイミングを狙ったもので、ワンフロアを理由に地下図書館を押し付けるやり方は許せません。

### 複合施設の 地下図書館に25億円

佐倉図書館を複合施設の地下にして1階に山車人形を展示するのは、国の補助金を得る目的があります。1階に図書館はなく、展示スペースやイベントスペース、物品販売、カフェなどを予定しており、すでに事業者からの提案を募集しました。

これで本当に新町の活性化になるのかと地元商店の方も心配しています。

地下図書館は城下町の図書館に似合いません。



## 地下の掘削費用は4～5千万円 今よりも少なくなる駐車スペース

地下を掘るために4千万円以上掘削費用がかかります。また、どんなに図書館を狭くしても、地下にしても、駐車スペースが今より少なくなることは避けられません。建設中の駐車場はどうするのでしょうか。

現在の図書館を壊して駐車スペースを作る予定ですが、それでも現在より25台分も少なくなり、金比羅市や美術館の利用者が困ります。

### 広い市有地に、 明るく使いやすい図書館を提案します

市民体育館の隣、佐倉中学前に元市営住宅の跡地が13年以上更地のままになっています。ここなら広い市有地にゆったりとした図書館が建てられます。駐車場も確保できます。

市は芝生公園にする予定と言いますが、公園の中の図書館は魅力的です。市の土地ですから用地費用はかかりません。

新町の活性化につなげるには交通政策と一体に、武家屋敷や順天堂までを視野に入れた回遊性の高い街づくりが必要です。

☞ 図書館も、新町の活性化も大事にするために、計画を変更して、市民のための広くて明るい城下町図書館を望みます。

# 学童保育で待機児童が増加!



## 入所の希望に緊急の補正予算を

社会保障の後退で自己負担が求められ、将来不安が広がる中、共働き世帯が増えています。志津北部地域などでは児童数が急増し、学童保育の待機児童が各所で見込まれています。

「これじゃ、強制退所です…」  
保護者からの告発を暴露

待機児童を不安に思う多くの保護者から日本共産党市議団へメールが届いています。

「昨年、待機児童になり就労形態も変わって家族は絶望的だった」

「あんなつらい思い、誰にもさせちゃダメ!」

添付資料にはなんと「5・6年生は退所して頂くことになりました…」との学童保育管理者の文書がありました。青菅小学校地域では定員95名に対して130名以上の希望者があります。

「その文書は確認していません」  
佐倉市は責任放棄?

児童福祉法に「国及び地方公共団体は…(中略)…児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」とあり、市はこれを認めました。

しかし、保護者からの告発はこの責任を佐倉市が放棄していることを示す内容です。

木崎市議の「待機児童を出さない」と約束ができるか?」との追及に「そのお約束にはお答えしかねます」と回答。蕨市長には「待機児童ゼロ…子育て一番の佐倉を不動のものにした」と語る資格はありません。



安倍政権がすすめる「スマートオフィス」には緊急の予算対応をしながら、市民の願いには冷たい市政が浮き彫りになりました。



## 民間バスと比べて…驚いた!!

## コミバスを片道100円に シルバーパスの創設を

交通不便地域の解消や高齢者など市民の移動の自由確保を目的に、運行が開始したコミュニティーバスですが、「片道200円(往復400円)は高くして利用できない」との声が多く届いています。

週に3日往復利用(年間156日)で6万2,400円。片道半額の100円にしても3万1,200円かかります。

一方で、民間バス路線のシルバーパスは乗り放題でなんと年間3万900円です。

|                                                                                      |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>手-REPパス</b><br>年間 ¥30,900<br>半額 ¥16,500<br><b>手-REP65</b><br>年間 ¥61,700<br>7社利用可能 |  |
| <b>マイモバパス</b><br>年間 ¥41,100<br>半額 ¥22,600<br><b>マイモバ65</b><br>年間 ¥72,000<br>14社利用可能  |  |

▷民間と比べても割高な運賃

▷片道100円やシルバーパスの創設を

木崎としゆきの提案に、市は「民間バスの割引制度に合わせた制度を検討します」と答えています。タクシー割引券も併せて求めました。

## 無料法律・生活相談会

5月18日(土) 午前10時より

会場 ひだまり(京成佐倉駅北口)

弁護士が同席します

萩原陽子・木崎俊行へ電話でご予約ください



## 有料化された公民館 5千人もの利用減少

### 無料化を求める請願は不採択

■使用料を無料にもどし、市民の誰でも公平・自由に楽しめる健康で文化的な公民館を求める請願

この請願は市民の切実な願いにこたえるもので、共産党市議団は賛成。

しかし、さくら会・公明党・のぞみ他は市民の活動や楽しみが制限されることにも無関心で討論もせず反対し、不採択にしました。

### 資料を委員にも示さない実態

公民館運営審議会でも、社会教育委員会会議でも、公民館の市民利用が減少した資料は提出されず、主観的な口頭報告のみで有料化の問題点は審議されませんでした。

都合の悪い数字は出さず、市民の声に耳をふさぐ形骸化した審議会や委員会では市民の信頼を失います。



### 市議会議場に「日の丸」の掲揚 市民不在の強行採決!

議場に国旗掲揚が必要かどうかは「市民的な対話と討論、合意形成」を抜きに決定できません。

「日の丸」の下、悲惨な戦争体験をした市民の意見を無視するものです。

オリンピックなど国のシンボルとして必要か？とは別の議論で、さくら会などが「数の力で強行するもの」として日本共産党は賛成しませんでした。

## 請願・陳情、意見書などへの 賛否で立場ハッキリ



### 安倍・自公政権の暴走政治を許さない市議会に!

- 後期高齢者医療制度の自己負担2割への引き上げ中止を求める意見書
- 学童保育の質の確保を求める意見書
- 支払い義務のない「在日米軍関係経費」の見直しを求める意見書 <以上日本共産党提出>
- 放射性物質による環境汚染を防止するための法整備を求める意見書 <他党派提出>

どれも市民の切実な要望に応えるものの、さくら会・公明党・会派のぞみ他反対で不採択とされてしまいました。

### ■主要農作物種子法廃止に関する陳情

市民の食料を守る責任を果たすため、県や国に対して日本の種子を保全する条例・法律の制定を求める本陳情に共産党市議団は賛成。採択を求めましたが、さくら会・公明党・会派のぞみ他により不採択に。

### ■幼児教育・保育の『無償化』に係わる制度の拡充及び国の地方自治体への十分な財政措置を求める陳情

無償化で自治体の負担が増大しないこと、保育の質・量が低下しないことなどを求める内容で、共産党市議団は賛成。

久々に反対理由を述べた公明党は「更なる消費税増税につながりかねない…様子を見る必要がある(主旨)」と反対。さくら会・会派のぞみ他も同調し、採択されませんでした。

### 市議会を傍聴して

2月議会を傍聴しましたが、請願として出された市民の願いが受け止められず、反対理由も言わずに、あっさりと不採択にされるのを目の当たりにしました。これでは議会に願いを託した市民は、議会への信頼を失うのではないかと思います。

議員の人数が多すぎるという意見がありますが、しっかりと市民の意見を受け止める議員を増やすことが大事だと感じました。

石井のぼる(江原台在住)